
『良友』画報と言語—身体の言説を中心に

孫 安石／村井 寛志／鈴木 陽一

『良友』画報を取り上げた本共同研究は、2017年に言語研究センターの出版助成を受け、孫安石・菊池敏夫・中村みどり編『上海モダン「良友」画報の世界』（勉誠出版、2018年）を上梓することができた。その後、「『良友』画報と言語—身体の言説を中心に」（2021年度～2023年度）という新しいテーマで研究をスタートした。しかし、コロナ禍の影響でほとんど研究活動を展開することはできず、以下、『良友』画報と上海に関連する関連記事を発表できたことに留まっている。

（1）英国の Science Impact 社の雑誌「Impact」（2021年2月号）「Critical Thinking in Social Sciences」特集号に「How Europe, the US and Asia impacted each other's society」（Professor An-suk Son 孫安石）

（2）孫安石「腺ペスト対策—ネズミを捕れ、ペ

ストを防げ、猫を飼え—1909年の『上海租界工部局公報』（『中国研究月報』2021年5月号、No.879）

（3）また、京都大学教育学部にて実施された集中講義（2021年8月10日～13日）において、『良友』画報の資料と孫安石他編『上海モダン「良友」画報の世界』についてその内容を口頭紹介した。

（4）神奈川大学言語研究センター NL、No.47号（2021年2月予定）に連載記事「『良友』画報の研究とその周辺の話—『近代電影氏研究資料彙編』の解題を兼ねて（3）」を引き続き、掲載する予定である。

その他、すべての共同研究の活動記録は、研究会HPの<http://liangyou.jugem.jp/>に内容を一般公開している。（文責 孫安石）

